

富山市中教研 研究計画

会 長 堀 寛
 会員数 674名 (6名)

1 本年度研究の基本方針

中学校教育の本義を省察し、生徒一人一人の能力を的確に把握するとともに、その可能性を最大限に伸ばし、豊かな心とたくましい人間の育成に努める。

このため、研究の焦点を明確にし、各教科、道徳、特別活動等の理論的研究と実践的研究を重んじ、指導内容及び指導法の深化・充実と評価の工夫に努める。

- (1) 「生きる力」を育むことを基本的なねらいとして、各教科、道徳、特別活動の特質等を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- (2) 個性を生かし主体的に課題を追究する生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。

2 部会構成と研究主題

【 () 内の数は、特別支援教育諸学校の会員数 (外数) 】

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	81	言葉に対して自覚的に思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の能力を高めていくための指導はどうあればよいか。 -言葉についての課題解決を主体的・対話的に行う授業づくり-
2	社 会	84	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどうすればよいか。 -思考力・判断力・表現力を育てるための教材開発や学習活動はどうあればよいか-
3	数 学	111	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、深い学びを実現する指導はどうあればよいか。
4	理 科	90	自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するためにはどうすればよいか。 -自然を敬い、自然の事物・現象に進んで関わり、科学することの面白さや有用性に気付くとともに、科学的根拠に基づき課題を解明しようとする態度をやしなう学習活動の工夫-
5	音 楽	34	幅広い音楽活動を通して、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫-
6	美 術	32	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 -美術科で育成することを旨とする資質・能力の三つの柱の実現に向けて-
7	保健体育	75	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じ運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。 (保健分野) 自らの健康を管理し、改善しようとする実践力を育てるための指導過程はどうあればよいか。

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
8	技術・家庭 (技術)	26	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活にいかすための問題解決的な学習の充実－
9	技術・家庭 (家庭)	24	
10	英 語	101	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 －4技能を総合的に育成するための言語活動を通して－
11	道 徳	27 (重複)	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める道徳の授業はどうあればよいか。 －互いに関わり合って道徳的諸価値の理解を深め合う学習活動－
12	特別活動	27 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 －生徒が主体的に参加し、合意形成や意思決定を目指す話し合い活動を通して－
13	特別支援	60 (重複) (6)	特別な支援を必要とする生徒が個性や能力を最大限に発揮し、進んで社会参加できるための指導はどうあればよいか。 －生徒が成就感や達成感を味わえる学習過程の工夫－
14	保 健	27	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 －生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫－

3 年間計画の概要

月	会合名	会 場	内 容
4	全体研修会	婦中ふれあい館 速星中学校	平成30年度事業・決算報告、令和元年度役員選出 事業計画・予算審議、各部会の組織・年間研究計画の作成
6	教科部会 特別部会	各 会 場	研究内容・方法の検討
8	教科部会 特別部会	各 会 場 各 会 場	富山地区大会の事前研究、現地研修 富山地区大会の事前研究、現地研修
10	県中教研 (富山地区大会)	各 会 場	授業研究と研究協議会
1	教科部会 特別部会	各 会 場	本年度のまとめと反省、次年度の研究主題の検討
2	内容研究会	大泉中学校	令和元年度庶務・決算中間報告 令和2年度運営・予算審議

4 留意事項

- (1) 市、県の教育方針及び県中教研の重点目標を基礎にしなが、市中教研の伝統を受け継ぎ、さらにその深化・充実に努める。
- (2) 各教科、道徳、特別活動等の基礎的・基本的な内容が確実に身に付く指導内容及び指導法の深化・充実と評価の工夫に努める。
- (3) 問題の所在を的確にとらえ、過去の研究成果を大切な出発点としなが実践的研究の累積を図る。